

〈こども版〉 としょかんだより No.249

# わくわく本だな 2004年 11月号

富山市立図書館 富山市丸の内1-4-50 電話 076-432-7272

みたむら のぶゆき  
**三田村信行の本**



三田村さんは、大学生のころから作品を書きはじめました。キツネやネコなどが主人公のゆかいな物語や、こわいミステリーなどたくさんのお話があります。

「いちばんバスのはやおきくん」(えほん) PHP研究所

バスのはやおきくんは毎朝、山のふもとの小さな町からにぎやかな町にいくいちばんバスです。ある日、今まで見かけたことのない男の人が、最初のバス停からのってきました。

「おとうふ百ちょう あぶらげ百まい」 あかね書房

町はずれのとうふやさんに、まいにちとうふを買いにくる男の子がいました。あるばん、その子が、あすの朝までにおとうふを百ちょうつくってほしいといってきたのです。

「真夜中のおそろしい荷物 - なんでもはこぶ ねこの手サービス-」 PHP研究所

運送屋ねこの手サービスに、ちょっと変わった仕事 came ました。それは真夜中に届くように荷物を運んでほしいという、あやしい注文でした。

「ネコカブリ小学校 校長先生恐竜島のぼうけん」 PHP研究所

会議中、大地震におそわれた校長先生たちは、気がつくと思知らぬところに立っていました。そして、なんと目の前には、恐竜があらわれたのです。



「ふしぎな教室」シリーズ

フレーベル館

たけしのクラスの36人目のクラスメート。その子はじつは、学校ぼっこでした。

36人目は誰? 真夜中のピアノ教室  
先生をとりかえて ラブレター大作戦  
きえた学校ぼっこ



「おとうさんがいっぱい」

理論社

ある時突然、トシオのお父さんが3人にふえました。おなじ顔、おなじ声で区別がまったくつきません。みんな、自分が本物だと主張します。

# あたらしくはいった本

= 1・2年  
= 3・4年  
= 5・6年

えほん

## 「チンパンジーとさかなどろぼう -タンザニアのおはなし-」

ジョン・キラカ / 作 岩波書店

チンパンジーのりょうしのソクベが、市場へさかなを売りにいきました。売りものをもった村の動物たちも、いっしょにソクベのトラックにのっていきます。でも食いしんぼうのイヌだけは、何ももたずにのりこみました。そして、すきをみて何度もソクベのさかなをねらうのです。



ものがたり

## 「あかちゃんライオン」

もとした いづみ / 作 ポプラ社



草原にすむライオンのカランは、あかちゃんあつかいされて、いつもおかあさんとおるすばんです。ある日、帰ってきたきょうだいたちがあんまり楽しそうなので、こっそり出かけることにしました。

ところが、大きなワニが待ちかまえる川におちてしまい・・・。

## 「おねえちゃんはアナウンサー」

堀 直子 / 作 小峰書店

ある日、小学生のふうは、お父さんが<sup>けんきゅう</sup>研究している<sup>くすり</sup>薬をまちがえて飲んでしまい、病気で死んだおねえちゃんにそっくりの、高校生ぐらいの女の子に変身してしまいました。

そこで、ふうは、アナウンサーになりたかったおねえちゃん<sup>ゆめ</sup>の夢をかなえるために、テレビ局にいつてみました。



## 「宇宙からやってきたオ・ペア」

エミリー・スミス / 作

文研出版

ハリーの家にオ・ペアがくることになりました。オ・ペアというのは、ベビーシッターと家のお手伝いをしてくれる学生のことです。

ところが、ハリーのところへきたオ・ペアは、なんと五百光年もはなれた星からやってきた宇宙人だったのです。



## 「デッドフォードのネズミたち <sup>やみ</sup>闇の入口」

ロビン・ジャーヴィス / 作 早川書房

古い空き家に、ネズミのブラウン一家が平和に暮らしていました。ところがある日、父さんネズミが、<sup>ざんこく</sup>残酷なドブネズミ軍団の王ジュピターにとらえられてしまいました。

それを知った娘<sup>むすめ</sup>のオードリーは、父さんを助けるために、たった一人で真っ暗な下水道に入っていきます。



「<sup>けいざい</sup>経済がよくわかる<sup>ずかん</sup>コンビニ大図鑑」 PHP研究所 / 編・刊

わたしたちが町のなかでよく見かけるコンビニは、いろいろなものがおいてある便利なお店です。最近<sup>ほんばい</sup>は商品の販売だけでなく、いろいろなサービスもしています。そんなコンビニのはじまりや、店員さんの仕事、つい買ってしまおう店のしくみ、商品の流れなどがわかりやすく書かれています。



## おいしいもの いっぱい

実りの秋。食欲の秋、おいしいものがいっぱいそろいました。

さあ、あなたは、何から食べますか。



「まんぷくでえす」(えほん) 長谷川 義史 / 作 PHP研究所

ぼくは、お父さんとお母さんとレストランへ<sup>しょくじ</sup>食事に行きました。まんぷくなのに、くいしんぼうの3人は、まだまだたべたーい。さてつぎは、なに、たべる？

「かっぱのごちそう」(えほん) 阿部 夏丸 / 作 童心社



ぼくが川でおぼれそうになった時、助けてくれたのは、かっぱ！川であそぶ<sup>じゅつ</sup>術をたくさん教えてくれたかっぱは、何も食べていないのに、おなかがいっぱいだということです。いったいかっぱのごちそうってなに？

「びっくり そっくり しゃっくり ようかん」 廣田 衣世 / 作 毎日新聞社

ぼくんちは、老舗<sup>しにせ</sup>の和菓子屋。おじいちゃんが作った新作栗<sup>くり</sup>ようかんを、最近元気がない校長先生といっしょに食べたら、なんとぼくと先生の身体が入れかわってしまったのです。



「アイデア料理は風太におまかせ」 沢田 俊子 / 作 汐文社

風太の家では、ピアノニストのお母さんが、コンサートの前には料理を作らないことになりました。かわりに6年生の風太が、<sup>ばん</sup>晩ご飯をつくることになったのですが・・・。



- 風太のアイデア料理レシピもついてます。 -

「小さなコックさん」 八木田 宜子 / 作 講談社

シゲオは、夏休みの最初の日、デパートで小学生だけのためのレストランを見つけました。入ってみると、そこには小学生のような顔をしたコックさんがいて、世界中の料理を作ることができるのです。



# しいたい しらべたい



最近、クマが山からおりてくるニュースをよく聞きます。クマの食べ物や暮らしについてくわしくわかる本を教えてください。

次の本などで調べることができます。

- 「クマ」 ヘレン・ギルクス/作 岩崎書店
- 「四季・クマの住む森」 米田 一彦/作 中央法規出版
- 「人はクマと友だちになれるか？」 太田 京子/作 岩崎書店



## シリーズしょうかい

「かいじゅうになりたいミルクちゃん」 かどの えいこ/作 ポプラ社



ミルクちゃんに、あかちゃんかいじゅうの弟ができました。でも、弟はミルクちゃんより大きくて、だっこもできません。ミルクちゃんはかいじゅうになるために、森へ行きました。

「忍たま乱太郎 あたらしい出城はだれのもの?の段」 尼子 騷兵衛/作 ポプラ社  
忍たま三人組はドクたまたちといっしょに、あたらしくできた出城をしらべることになりました。

「レモンアイスでちょっぴり背のび  
おなやみかいけつクッキング」

令丈 ヒロ子/作 あかね書房

背の低いことがなやみのミチル。背が高くなった親友のマユミがあそびにさそっても、なかよくできません。でも宇宙人のピチといっしょにさわやかレモンアイスを作ったらスッキリ解決!

「サッカーキッズ物語 5

赤い機関車デニツの巻」

ヨアヒム・マザネック/作 ポプラ社

トルコ人のデニツがチームに入ることになりました。でも、デニツは前のチームをクビになってきたのです。いったいどんな秘密があったのでしょうか。



「ダレン・シャン 11 闇の帝王」 ダレン・シャン/作 小学館

ダレンは偶然、生まれ故郷の町に帰ってきました。しかし、そこには罠がまちかまえていたのです。

11 がつ

おやすみの日

11月 1日(月) 11月 3日(火・祝)

11月 4日(木) 11月 8日(月)

11月15日(月) 11月22日(月)

11月23日(火・祝) 11月29日(月)